

たちかわの未来の環境を語ろう！ 第1回たちかわ環境 市民ワークショップ ニュースレター

発行元 立川市環境下水道部環境対策課

立川市では現在、立川市第3次環境基本計画等の策定に向け、検討を進めています。策定にあたっては、社会情勢や市民の意識から、課題等をしっかりと把握する必要があると考えています。

また、地球温暖化がもたらす気候変動と多発する気象災害、ごみ・食品ロスの問題、生物多様性の損失や外来生物の増加などなど・・・身近な生活環境の問題から地球規模の環境問題まで、多くの課題を抱えており、立川市も様々な課題に直面しています。そんな立川市の環境をより良いものにして、みなさんと共に未来へつないでいくため、「目指すべき立川市の環境」について、語り合いたいという思いから、ワークショップを開催することとしました。

<開催概要>

1. 日時
令和6年1月20日(土)
13時から15時半
2. 場所
立川市役所内 会議室
3. 参加人数
16人

<プログラム>

1. 開会
2. ワークショップについて
3. グループ討論
4. 発表
5. 閉会



● ワークショップについて

ワークショップを実施する目的や今後の流れなどについて、市より説明を行いました。ワークショップとは、予定されていることを説明する説明会等とは異なり、参加者同士で考え、手を動かし、意見を交わすものであり、市はそこで出た結論を計画策定の参考とします。

● 本日の討議テーマと進め方について

激しく変化する昨今の環境問題について、「気候変動」「ごみ減量」「生物多様性」といった視点から情報提供するとともに、令和5年9月に実施したアンケート調査結果を以下のような説明スライドを使って、共有しました。また、本日の討議テーマを「環境」について興味を持っていること「立川市の環境の良いところ、改善したいところ」に設定し、グループ討議の進め方を説明しました。

～説明スライド(一部抜粋)～



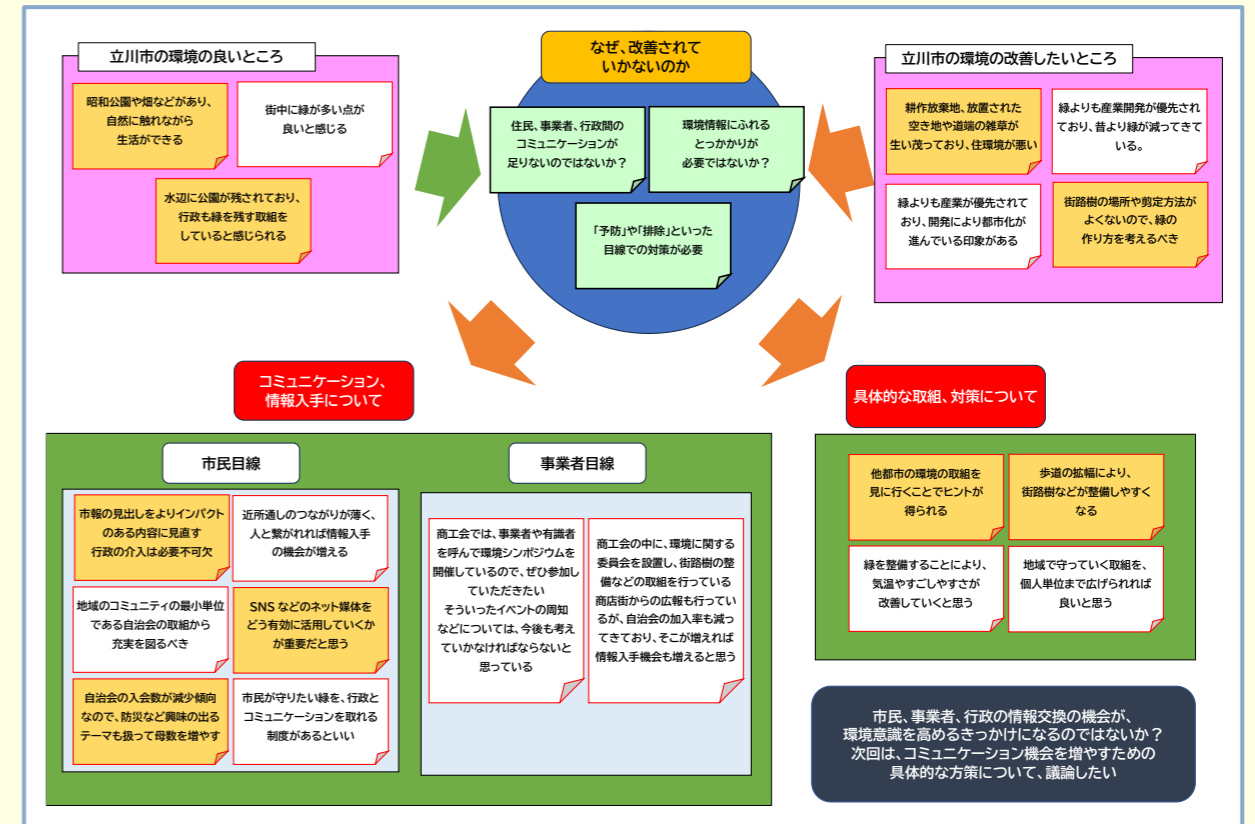
● グループ討論で出た意見 <「地球温暖化」グループの場合>

まずは、「立川市の環境の良いところ」と「立川市の環境の改善したいところ」について意見を出し合いました。それらの意見をもとに、「環境の悪いところがなぜ改善されていないのか」について、議論を交わしました。市民、事業者、行政といったそれぞれの立場から見える課題を挙げていく中で、「情報交換の機会こそが、環境意識を高めるきっかけになる」のではないかとというひとつの可能性を見出しました。



今回は、「コミュニケーション機会を増やすための具体的な方策」について、議論を深めていきたいと考えています。

<立川市の環境の良いところ、改善したいところ>



● グループ討論で出た意見 <「ごみ減量・まちの美化」グループの場合>

まずは、グループテーマにこだわらず、「環境について興味のあること」を出し合いながら、知識を情報交換することで、学びを深めました。次に、興味のあることを切り口に、「立川市の環境の良いところ」と「立川市の環境の改善したいところ」について意見を出し合いました。

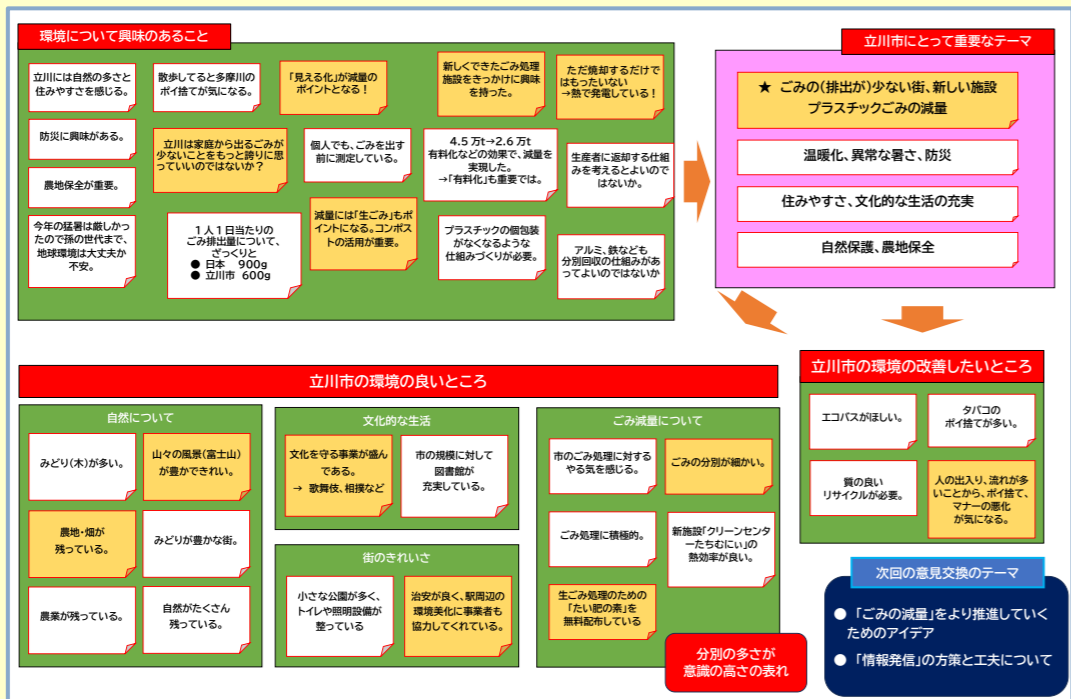
グループテーマである「ごみ減量」について、立川市民の1人1日当たりごみ排出量の少なさから、意識が高いという話題になり、有料化への対応や分別の細かさなどが意識啓発、行動変容につながっているのではないかと意見にまとまりました。



今回は、立川市の良いところである「ごみ減量」について、より進んでいくはどのようなアイデアがあるかを掘り下げていくとともに、本日のワークショップ内で出てきた情報を市民の方にもっと発信していくためにはどのような工夫が必要かを掘り下げていこうと考えています。

● グループ討論で出た意見 <「ごみ減量・まちの美化」グループの場合>のつづき

<立川市の環境の良いところ、改善したいところ>

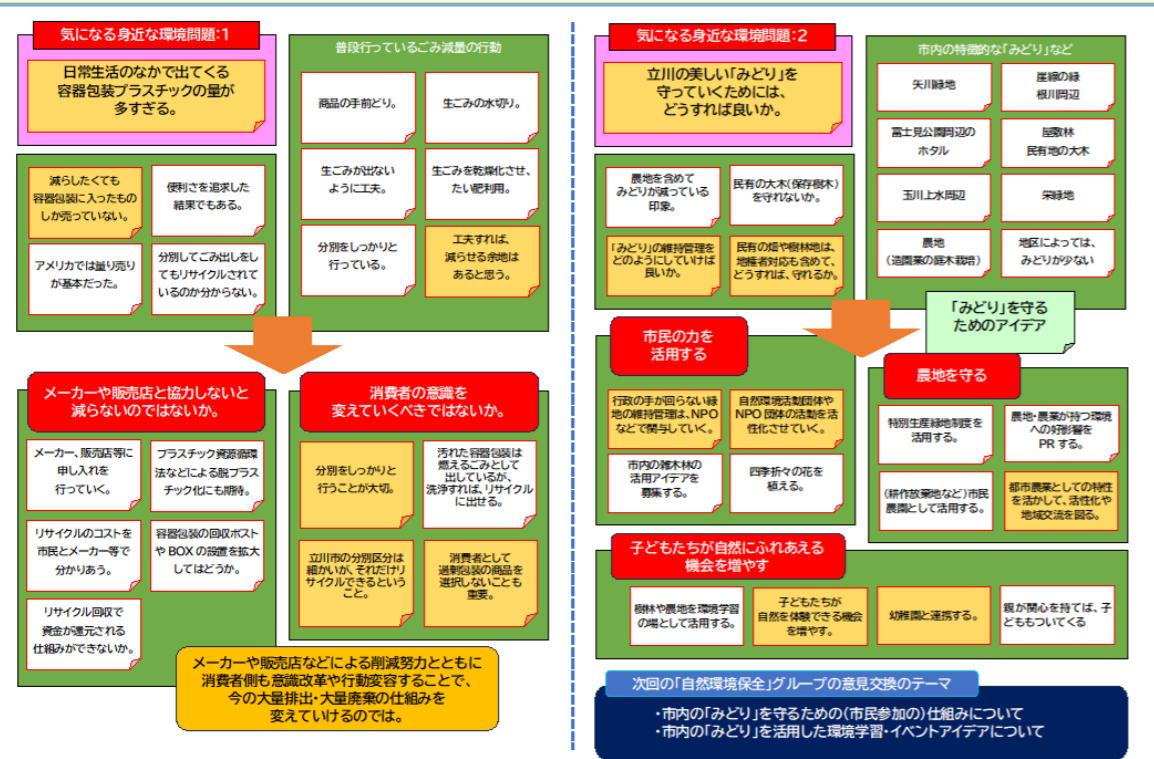


● グループ討論で出た意見 <「自然環境保全」グループの場合>

まずは、立川市の環境の良いところ、改善したいところについて、「気になる身近な環境問題」という切り口で意見を出し合い、「容器包装プラスチック」と「立川の美しいみどりを守る」の2点について議論を交わしました。なお、「立川の美しいみどりを守る」については、生産緑地などのみどりを守るためのアイデアについて、次回以降、深掘していくことで、市民参加の仕組みづくりやみどりを活用した環境学習などを考えていきたいと考えています。



<立川市の環境の良いところ、改善したいところ>



● 講評 <一橋大学 山下英俊先生>

全体をまとめてコメントさせていただきます。

まず、こういった場に志願して参加された方々ということも含めて、よく考えて、行動に移している方が集まったことに驚きましたし、喜びでもありました。例えば、立川市の1日1人ごみ排出量がざっくり600gなのに対して、「私は15gです。」という話をしてくださる方がいたり、そこから、どのようにそこまで減量しているかといったアイデアを共有いただいていた。

また、全グループで「みどり・自然」は話題にあがっていましたが、それについてもそれぞれのご経験を踏まえてどんな課題があるか、どんな方法で守っていけるのかといった、かなり具体的な提案をしていただく方が多い印象でした。これは、この場で大判紙に意見を貼って終わりにするのではなく、個別のご意見についてもきちんとまとめていただき、市として政策に活かせる提案は、どんどん活用していただきたいです。

このワークショップの目的としては、立川市の次期環境基本計画の参考にすることだけではなく、最終的なアウトプットは、より大きなテーマが中心となってしまうので、そこで拾い切れないけれども市の取組に活かせる具体的なご提案をたくさんいただいたように思います。

なお、次回以降のテーマについて、各グループにみどり、ごみ、温暖化とテーマが設けてありますが、グループ名にこだわらず、参加した皆さんの関心に依じて議論を進めていただく方が中身も深まっていくのではないかと思います。共通して出ていたのは、コミュニケーションや広報のあり方の話題でしたので、今後の市の施策を変えていくためにも、非常に重要な市民目線の話が出てくると予想されます。それぞれのグループで掘り下げていただけるようなので、ぜひそこは期待したいと思っています。

● アンケート結果(一部抜粋) ※ アンケート回答者 16名

Q グループワークや進行はいかがでしたか?

- ・短い時間の中で、うまく進行できた。
- ・他のグループに対し、意見や感想を述べる時間や機会があると良い。
- ・もう少しテーマを持って話し合えるとよかった。
- ・テーマが絞り切れなかったが個人の関心の高い問題を出し合えてよかった。
- ・あるテーマの深掘ではなく、フリートークになり多少、まとまりの点で心残りが出た。
- ・発言しやすかった。

Q 討議テーマの設定はいかがでしたか?

- ・もう少しグループ間のかき根を低くした方が意見が出しやすかった。
- ・ブレインストーミングの形で、コアとなる「ゴミ(廃棄物)」を中心とした様々な課題、内容を知ることができた。
- ・環境や地球温暖化の対策に絞り込んで、各立場で意見を出せると良いと思いました。
- ・自然、ゴミ、緑化等は関連しており総合的にとらえた方がよい。
- ・自分の問題意識が少し足りないテーマだと感じたが、他のメンバーの方の意識の高さが分かって良かった。

Q そのほか、ご意見・ご感想はありますか?

- ・年代や経歴の違う人たちの話を聞くことができ環境に関する意識が高まりました。
- ・こういう会合をくり返して欲しい。
- ・市としての課題などを聞いてみたいと思いました。
- ・環境問題は個別の課題だけでなく、人々の生活、教育とも関連しており、視野を広げる上で、本ワークショップはよい機会である。
- ・ワークショップ3回で終わるのは時間不足。
- ・この様な集まりに集まってくるのは意識が高い人なので、問題は、それ以外の人です。